

広島大学 若手研究人材養成センター
イノベーション人材養成システム
第Ⅷ期(平成 25 年 4 月期)募集要項

平成 24 年 12 月



1 本取組の概要と公募の主旨

本取組は、博士課程後期の大学院生及び学位取得後5年以内の若手博士研究者を対象とした新しい人材養成システムです。自身の専門に裏打ちされた幅広い知識と興味をもち、新分野に挑戦する活力ある人材を、広島大学若手研究人材養成センターにおいて、中国四国地方の企業や研究機関、学会等と密接に連携しながら養成します。

被養成者は、「実践プログラム」(実務キャリア、英語コミュニケーション、MOT教育、融合領域研究、異分野研究支援、企業派遣の各プログラム)を受講します。修得単位や取組実績は、アチーブメントカードシステムにより一元管理され、それに基づく指導・助言を受けます。自身の専門をしっかりもち、幅広く自身の将来を考えている若手研究者の応募を男女問わず期待しています。

本取組は、文部科学省科学技術人材育成費補助金「ポストドクター・キャリア開発事業」(イノベーション創出若手研究人材養成)の補助事業です。

2 募集対象者及び応募資格

DC枠： 本学の博士課程後期在学者

PD枠： 博士学位取得後5年以内の若手研究者及び平成25年3月末日までに学位取得が見込まれる者

3 募集人員

・DC 枠(本学の博士課程後期在学者) 5名程度

・PD 枠(博士学位取得後5年以内の若手研究者) 2名程度

(平成25年3月末日までに取得見込みの者を含む。)

4 応募要件

- ・応募締切時に40歳未満であること
- ・採用時にポストドクター又は任期付助教、等の職にない者(別の経費により任期付で雇用されている者については、本事業による重複雇用はできません)
- ・国内外の企業において、通算3箇月以上のインターンシップ(研究や技術開発等の実地経験)に従事すること
- ・自身の専門だけでなく、幅広い知識や基本的技術をもつことに積極的であること
- ・博士課程後期在学者の場合は、博士論文を提出するために必要な研究に加えて、本養成計画に取組む強い意志を有すること

5 応募方法

(1) 必要書類等

- ・応募申請書(所定の様式) 9部 A4判、両面印刷(うち写し8部)
- ・指導教員の推薦書及び評価書(所定の様式を厳封のうえ提出すること。) 1通
- ・学位取得証明書又は学位取得見込証明書(PD枠に応募する者のみ) 1通

- ・返信用封筒(合否の通知に用いる。定形封筒に応募者の住所、氏名を明記し、80 円の切手を貼付すること。)

1 部

※原則として、応募書類は返却しません。

※応募書類で取得した個人情報、本取組以外には使用しません。

(2) 応募申請書の提出締切

平成 25 年 2 月 13 日(水) 15:00 必着

※指導教員の推薦書及び評価書が間に合わない場合は、下記(3)に問い合わせること。

※郵送の場合は、簡易書留とし、封筒に「応募申請書在中」と朱書すること。

(3) 応募申請書の提出先

〒739-8524 東広島市鏡山一丁目 1 番 1 号

広島大学 若手研究人材養成センター(教育学部 K 棟 402 号室)

Tel: 082-424-6213

e-mail: wakateyousei@office.hiroshima-u.ac.jp

※応募する者は、システムの説明を行いますので、あらかじめ、5(3)に問い合わせてください。

※応募書類一式を封筒(角 2)に入れ厳封の上、封筒表面に申請者名と推薦者名を記載すること。

※応募申請書の様式は、若手研究人材養成センターホームページからダウンロードしてください。(様式の改変及び追加は不可。)URL <http://www.hiroshima-u.ac.jp/wakateyousei/>

※応募書類作成の際、手書きする場合は、黒インク又は黒ボールペンで丁寧に記入してください。

6 選考方法

(1) DC 枠: 本学の博士課程後期在学者

- ・第一次審査(応募申請書による選考)
- ・第二次審査(口述による選考) (これまでの研究内容及び企業でのインターンシップで希望する研究内容について 15 分の日本語による口頭発表の後、質疑応答。英語による口頭試問。)

(2) PD 枠: 博士学位取得後 5 年以内の若手研究者(平成 25 年 3 月末日までに学位取得見込みの者を含む。)

- ・第一次審査(応募申請書による選考)
- ・第二次審査(口述による選考) (これまでの研究内容及び企業でのインターンシップで希望する研究内容について 20 分の日本語による口頭発表の後、質疑応答。英語による口頭試問。)

※第一次審査(応募申請書による選考)の結果については、平成25年2月27日(水)までに、選考を行った全員に連絡します。

※第二次審査を受ける場合の旅費等は支給できませんのであらかじめご了承ください。

7 第二次審査(口述による選考)受験票の交付

第二次審査(口述による選考)受験票は、応募申請書記載の e-mail の宛先に送付します。

平成25年2月27日(水)までに送付されない場合は、5(3)にお問い合わせください。

8 第二次審査(口述による選考)の日程等

日 時 : 平成25年3月5日(火)

審査室の場所 : 広島大学東広島キャンパス内

集合時刻、選考開始時刻等は、別途、応募申請書記載の e-mail の宛先に送付します。

選考の前日正午までに送付されない場合は、5(3)にお問い合わせください。

9 第二次審査(口述による選考)当日に持参するもの

(1) 受験票

(2) 写真入り身分証明書(学生証、運転免許証等)

10 選考結果発表

日 時 : 平成25年3月13日(水) 15:00 (予定)

方 法 : 被養成者の候補者として選考した者の受験番号をホームページで公開します。

URL: <http://www.hiroshima-u.ac.jp/wakateyousei/>

選考結果は、応募者全員に通知します。

※被養成者の候補者として選考された者が、やむを得ない事由により採用を辞退する場合は、3月18日(月)15:00までに、5(3)に連絡すること。

11 採用された場合の養成期間

平成25年4月1日～平成26年3月末日 の1年間

但し、PD枠で採用された者については、上記期間内であっても、3箇月以上の企業派遣プログラムが終了した後、就職が確定した場合は、養成期間を早期終了します。

12 待遇

(1) DC枠: 博士課程後期在学者

① 給与

企業派遣プログラム期間(インターンシップ期間)中は、非常勤職員(リサーチ・アシスタント(平成24年度実績:1時間あたり1,200円))として雇用し、広島大学非常勤職員の任免・給与及び労働時間・休日・休暇に関する規則に基づき月10万円程度を支給します。

通勤手当、賞与、退職手当等、その他の手当等の支給はしません。

② 社会保険等

非常勤職員(リサーチ・アシスタント)として雇用されている期間、労災保険に加入します。健康保険、厚生年金保険及び雇用保険は適用しません。

③ 企業派遣プログラム先企業(インターンシップ先企業)への交通費等

本学の規程に準じて交通費または旅費を支給します。

※移動手段、距離によっては支給しない場合があります。

(2) PD枠:博士学位取得後5年以内の若手研究者(平成25年3月末日までに学位取得見込みの者を含む。)

① 給与

養成期間中は、広島大学若手研究人材養成センターの研究者として雇用し、広島大学教育研究系契約職員の任免・給与及び労働時間・休日・休暇に関する規則に基づき支給します。(平成24年度実績:月270,000円) 通勤手当、賞与、退職手当等、その他の手当等の支給はしません。

② 社会保険等

文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険に加入します。

③ 企業派遣プログラム先企業(インターンシップ先企業)への交通費等

本学の規程に準じて交通費または旅費を支給します。

※移動手段、距離によっては支給しない場合があります。

13 問い合わせ先

広島大学 若手研究人材養成センター 特任教授 川畑 弘

電話番号、電子メールアドレスは5(3)の応募申請書提出先と同じ

文部科学省科学技術人材育成費補助金「ポストドクター・キャリア開発事業」(イノベーション創出若手研究人材養成)
「地方協奏による挑戦する若手人材の養成計画」
第Ⅷ期(平成 25 年 4 月期)DC枠(博士課程後期学生)被養成者
応募申請書

履歴等

フリガナ 氏 名		生年 月日	昭和・平成 年 月 日生 (男・女)	博士課程後期 年
現住所	〒 電話番号:() - e-mail: 学内連絡先電話番号:			
学歴	平成 年 月 _____ 高等学校卒業 平成 年 月 _____ 大学 _____ 学部 _____ 学科卒業 平成 年 月 _____ 大学大学院 _____ 研究科博士課程前期 _____ 専攻入学 平成 年 月 _____ 大学大学院 _____ 研究科博士課程後期 _____ 専攻入学			
語学に関する資格 (英検、TOEIC 等)	年 月			
現在受給している助成等の有無等	有・無	具体的な助成等名(RA、TA 等)とその業務内容		
企業等との共同研究の経験・実績	相手先企業等と応募者が果たした役割(共同研究の経験がない場合は「なし」と記入すること)			
インターンシップの経験	受入先、期間、業務内容(インターンシップの経験がない場合は「なし」と記入すること)			

※学歴は高等学校卒業以降を全て記載すること。

1 実践プログラム履修に対する抱負

(下記の4項目を中心に2,000字以内で記述すること。)

- ① 実務コアコース、イノベーション研究コースで身につけたい技術や知識について
- ② 希望する企業派遣プログラム先(インターンシップ先)または分野
- ③ 企業派遣プログラム(インターンシップ)で身につけたい技術や知識について
- ④ 博士課程後期修了後のキャリアパスについて

2 現在までの研究状況

(研究内容を中心に、1,000字以内で記述すること。図表を含めてもよいので、分かり易く記述すること。様式の改変及び追加は不可。)

- ① これまでの研究の背景、問題点、研究方法、特色及び独創的な点について記述すること。
- ② これまでの研究経過及び得られた結果について整理し、上記①に関連づけて説明すること。3の研究業績欄に記載する論文等を引用する場合には、同欄の番号を記載し、応募者が担当した部分を明らかにすること。

3 研究業績

(下記の項目について、応募者の研究業績を記載すること。その際、通し番号を付し、該当がない項目に関しては「なし」と記載すること。研究業績の応募者氏名は、太字でかつアンダーラインを付すこと。)

- (1) 学術雑誌等(紀要及び論文集等も含む。)に発表した論文及び著書(査読の有無を区分して記載すること。査読の有る場合、印刷済み及び掲載決定済みのもののみ記載すること。)
 - ① 著者(応募者を含む全員の氏名を論文と同一の順番で記載すること)、題名、掲載誌名、巻号、pp 開始頁-最終頁、発行年をこの順で記入すること。(2)の学術雑誌等又は商業誌における総説や解説に関しても同様。
 - ② 頁番号等が発行されていない採録決定済のものに関しては、それを証明できるものを別添すること。
- (2) 学術雑誌等又は商業誌における総説や解説(既に掲載されているもののみを掲載すること。)
- (3) 国際学会における発表(既に発表が終了しているものについて、口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記載すること。)、著者(応募者を含む全員の氏名を論文等と同一の順番で記載すること。)、題名、発表した学会名、場所、発表年月を記載すること。発表者に○印を付すこと。
- (4) 国内学会・シンポジウム等における発表(上記(3)の国際学会における発表と同様に記載すること。)
- (5) 特許等(公開若しくは取得について明記すること。)
- (6) その他(受賞歴等)

第Ⅷ期(平成 25 年 4 月期)応募者に関する推薦書及び評価書(DC枠)

「地方協奏による挑戦する若手人材の養成計画」の趣旨を理解し、

(応募者の氏名)

を、本取組の被養成者(博士課程後期学生)の候補者として推薦します。

推薦順位: 位(名のうち)

なお、上記被推薦者が被養成者として選抜された場合、メンター教員として指導が、

()可能

()不可能 (理由:)

所属機関・専攻

職名・氏名

印

連絡先(電話・e-mail)

① 応募者との関係

- ② 応募者の研究姿勢・忍耐力、研究の進捗状況、専門的知識・技量、着想力・創造力、コミュニケーション能力、リーダーシップ、将来性などについて記入してください。また、研究の独創性や特色も明記してください。その研究が共同研究である場合は、特に申請者の当該共同研究において果たした役割及びその寄与の程度が分かるように記入してください。

※作成上の注意

推薦順位について

- ・複数の博士課程後期在学者を推薦する場合は、それぞれの推薦順位を必ず記入してください。
- ・同じ順位はつけないでください。

推薦書は厳封のうえ提出してください。

文部科学省科学技術人材育成費補助金「ポストドクター・キャリア開発事業」(イノベーション創出若手研究人材養成)
「地方協奏による挑戦する若手人材の養成計画」第Ⅷ期(平成25年4月期)

PD枠(博士学位取得者及び平成25年3月末日までに学位を取得見込みの者)被養成者

応募申請書

履歴等

フリガナ 氏名		生年 月日	昭和 年 月 日生(男・女)
現住所	〒 電話番号:() - e-mail: 上記以外に日中連絡が可能である電話番号:		
学歴	平成 年 月 _____ 高等学校卒業 平成 年 月 _____ 大学 _____ 学部 _____ 学科卒業 平成 年 月 _____ 大学大学院 _____ 研究科博士課程前期 _____ 専攻入学 平成 年 月 _____ 大学大学院 _____ 研究科博士課程後期 _____ 専攻入学 平成 年 月 博士学位取得(見込み) (学位名称 _____) (平成25年3月末日までに学位取得見込みの場合は、その旨を記し、学位取得見込証明書を提出すること。取得(見込み)学位名称を記載すること。)		
語学に関する資格 (英検、TOEIC等)	年 月		
職歴	これまでの職歴全てについて雇用期間、雇用元、従事した職務内容を記して下さい		
現職	現在の雇用関係について記して下さい		
企業等との共同研究の経験・実績	相手先企業等と応募者が果たした役割(共同研究の経験がない場合は「なし」と記入すること)		
インターンシップの経験	受入先、期間、業務内容(インターンシップの経験がない場合は「なし」と記入すること)		

※学歴は高等学校卒業以降を全て記載すること。

1 実践プログラム履修に対する抱負

(下記の4項目を中心に2,000字以内で記述すること。)

- ① 実務コアコース、イノベーション研究コースで身につけたい技術や知識について
- ② 希望する企業派遣プログラム先(インターンシップ先)または分野
- ③ 企業派遣プログラム(インターンシップ)で身につけたい技術や知識について
- ④ 養成プログラム終了後のキャリアパスについて

2 現在までの研究状況

(研究内容を中心に、2,000字以内で記述すること。図表を含めてもよいので、分かり易く記述すること。様式の改変及び追加は不可)

- ① これまでの研究の背景、問題点、研究方法、特色及び独創的な点について記述すること。
- ② これまでの研究経過及び得られた結果について整理し、上記①に関連づけて説明すること。3の研究業績欄に記載する論文等を引用する場合には、同欄の番号を記載し、応募者が担当した部分を明らかにすること。

3 研究業績

(下記の項目について、応募者の研究業績を記載すること。その際、通し番号を付し、該当がない項目に関しては「なし」と記載すること。研究業績の応募者氏名は、太字でかつアンダーラインを付すこと。)

- (1) 学術雑誌等(紀要及び論文集等も含む。)に発表した論文及び著書(査読の有無を区分して記載すること。査読の有る場合、印刷済み及び掲載決定済みのもののみ記載すること。)
 - ① 著者(応募者を含む全員の氏名を論文と同一の順番で記載すること)、題名、掲載誌名、巻号、pp 開始頁-最終頁、発行年をこの順で記入すること。(2)の学術雑誌等又は商業誌における総説や解説に関しても同様。
 - ② 頁番号等が発行されていない採録決定済のものに関しては、それを証明できるものを別添すること。
- (2) 学術雑誌等又は商業誌における総説や解説(既に掲載されているもののみを掲載すること。)
- (3) 国際学会における発表(既に発表が終了しているものについて、口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記載すること。)、著者(応募者を含む全員の氏名を論文等と同一の順番で記載すること。)、題名、発表した学会名、場所、発表年月を記載すること。発表者に○印を付すこと。
- (4) 国内学会・シンポジウム等における発表(上記(3)の国際学会における発表と同様に記載すること。)
- (5) 特許等(公開若しくは取得について明記すること。)
- (6) その他(受賞歴等)

平成 年 月 日

第Ⅷ期(平成 25 年 4 月期)応募者に関する推薦書及び評価書(PD枠)

「地方協奏による挑戦する若手人材の養成計画」の趣旨を理解し、

(応募者の氏名)

を、本取組の被養成者(博士学位取得者)の候補者として推薦します。

推薦順位: 位(名のうち)

なお、上記被推薦者が被養成者として選抜された場合、メンター教員として指導が、

()可能

()不可能 (理由:)

所属機関・部局・専攻

職名・氏名

㊞

連絡先(電話・e-mail)

① 応募者との関係

② 応募者の研究姿勢・忍耐力、研究の進捗状況、専門的知識・技量、着想力・創造力、コミュニケーション能力、リーダーシップ、将来性などについて記入してください。また、研究の独創性や特色も明記してください。その研究が共同研究である場合は、特に申請者の当該共同研究において果たした役割及びその寄与の程度が分かるように記入してください。

③ 応募者が、学位を取得していない場合は、平成 25 年 3 月末日までの学位取得の見込みについて記入してください。

※作成上の注意

推薦順位について

・複数の博士学位取得者(取得見込みの者を含む。)を推薦する場合は、それぞれの推薦順位を必ず記入してください。

・同じ順位はつけないでください。

推薦書は厳封のうえ提出してください。